

「統一的な基準」に基づく財務諸表の公表（令和4年度決算）

総務省から示された「統一的な基準」に基づき、企業やその他の法人で広く採用されている会計手法（複式簿記）による向日市の決算書類として「財務諸表」を作成しました。

財務諸表から得られる財政指標を用いて、向日市の財政状況についての分析結果を公表します。

一般会計財務諸表の概要

1 貸借対照表（BS）

資産 計	640億 3百万円	負債 計	197億 75百万円
固定資産	596億 33百万円	固定負債	178億 31百万円
うち償却資産評価額		流動負債	19億 44百万円
	327億 16百万円		
うち減価償却累計額		純資産	442億 28百万円
	187億 43百万円		
流動資産	43億 70百万円		
うち財政調整基金等			
	24億 3百万円		

2 資金収支計算書（CF）

業務活動収支	14億 7百万円
投資活動収支	▲10億 12百万円
財務活動収支	▲2億 43百万円
本年度資金収支	1億 51百万円
前年度末資金残高	17億 34百万円
本年度末資金残高	18億 85百万円

※ 本表の詳細版及び連結財務諸表等もホームページ等で公表していますので、あわせてご覧ください。

3 行政コスト計算書（PL）・純資産変動計算書（NW）

経常費用	206億 52百万円
経常収益	5億 52百万円
純経常行政コスト	201億 0百万円
臨時損益	▲2百万円
純行政コスト	201億 2百万円
財源 税収等 補助金	140億 64百万円 72億 82百万円
その他純資産変動額	19億 98百万円
本年度純資産変動額	32億 43百万円

財政状況の分析結果

分析の着眼点	指標等
【資産形成度】 将来世代に残る資産はどのくらいあるか	・有形固定資産減価償却率：減価償却累計額÷償却資産評価額＝57.3%
【世代間公平性】 将来世代と現世代との負担の分担は適切か	・将来世代負担比率：負債÷資産＝14.3%
【持続可能性】 財政に持続可能性はあるか （健全性）（どのくらい借金があるか）	・基礎的財政収支（プライマリバランス）： 業務活動収支＋投資活動収支＝6億 1百万円
【効率性】 行政サービスは効率的に提供されているか	・市民一人当たり純行政コスト（R5.1.1現在56,794人）：35万 4千円
【弾力性】 資産形成を行う余裕はどのくらいあるか	・参考 … 経常収支比率95.2%（地方財政状況調査から引用） （財務諸表を用いた指標の算出方法について引き続き検討）
【自律性】 歳入はどのくらい税金等でまかなわれているか （受益者負担の水準はどうなっているか）	・受益者負担の割合：経常収益÷経常費用＝2.7%